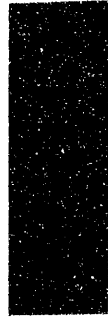




明治廿七年十二月
橋本城海城及ヒ
缸籠寨附近ニ於ケル

第一軍戰鬪詳報

1878



1879

報 告

十二月十日

第三師團司令部

師團ハ拆木城ノ敵ヲ攻撃シ遂ニ海城ヲ占領スルノ目的ヲ以テ九日諸隊ヲ秀巖ニ集合シ之ヲ臨處スルヲ左ノ如シ

師團命令 十二月九日正午十二時
於岫巖師團司令部

一 敵ノ大部ハ拆木城ニ在テ其一部ヲ藩家堡子及二道河子ニ分遣シアルモノ、如シ其兵力ハ四五千ナラン蓋平及海城ニハ敵兵アレヒ兵力詳ナラス

二 師團ハ拆木城ノ敵ヲ攻撃スルノ目的ヲ以テ同地ニ向ヒ前進セントス

三 大迫支隊ハ九日秀巖出發大偏領(廿五分

一 彌上ノ大山領)牛心山ヲ經テ拆木城ニ

軍隊區分

大迫支隊

長大迫少將

1880

<p>步兵第六聯隊(一大隊ト一中隊欠) 騎兵第一中隊(一小隊ト大孤秀巖間ノ 遞騎哨ヲ欠ク) 野戰砲兵第三大隊(一中隊欠) 工兵第二中隊ノ一小隊 第一糧食縱列ノ半 左側支隊 長佐藤大佐 歩兵第十八聯隊ノ一大隊^ヲ 騎兵第一中隊ノ一小隊 第一糧食縱列ノ半 秀巖守備隊</p>	<p>向ヒ前進シ本隊ノ攻撃ヲ援助ス可シ 四左側支隊ハ九日秀巖ヲ出發シ石灰窟子、 胡兒溝ヲ經テ于馬河子附近ニ至リ止テ本 隊ノ左側ヲ掩護シ蓋平ノ方向ヲ搜索スヘ シ 五秀巖守備隊ハ秀巖ヲ守備シ特ニ黃花甸ノ 方向ヲ警戒スヘシ 大小架橋縱列ノ殘員ハ一時本來ノ業務外 ニ使用スルコトヲ得 六大孤山秀巖間ノ守備隊ハ兩地間兵站線守 備ニ任シ運搬隊長及兵站司令官ヨリ要求 アラハ之ニ應スヘシ 七運搬隊ハ兵站司令官押上少佐ノ令下ニ在</p>
--	--

1881

<p>長酒井少佐</p> <p>歩兵第六聯隊ノ第三大隊(一中隊欠)</p> <p>騎兵五騎</p> <p>大小架橋縦列ノ殘員(十日秀巖ニ着)</p> <p>秀巖及大孤山間兵站路守備隊</p> <p>長大西大尉</p> <p>歩兵第六聯隊第七中隊</p> <p>運搬隊</p> <p>長牧野大尉</p> <p>歩兵彈藥一縱列</p> <p>砲兵彈藥一縱列</p>	<p>テ其業務ヲ執ルヘシ</p> <p>八前衛ハ明十日午前七時秀巖東北奥隆勾ニ至ル道路上小川ノ處ヲ出發シ五道河頭道河ヲ經テ大偏領ニ向ヒ前進スヘシ</p> <p>九本隊ハ午前八時三十時其先頭ヲ以テ秀巖ノ北端三又点ヲ出發スヘシ</p> <p>十大行李ハ午前九時卅分其先頭ヲ以テ秀巖ノ北端三又点ヲ出發シ本隊ニ續行スヘシ但シ諸隊出發マテ道路内ニ入ルヘカラス</p> <p>大行李長ハ西尾中尉トス</p> <p>大行李ノ行軍序列ハ戰鬪序列ニ依ル</p> <p>十一輜重第一梯隊ハ午前十時三十分出發大行李ニ續行スヘシ</p>
--	--

1882

<p>前衛</p> <p>司令官大島少將</p> <p>歩兵第七聯隊(一大隊欠)</p> <p>騎兵第三大隊本部及第二中隊(一小隊欠)</p> <p>野戰砲兵第二大隊</p> <p>工兵第三大隊(第二中隊ヲ欠ク)</p> <p>衛生隊半部</p> <p>本隊(同行軍序列)</p> <p>師團司令部</p> <p>騎兵第二中隊ノ一小隊</p> <p>歩兵第十九聯隊本部及一大隊</p>	<p>十二聯重第二梯隊ハ正午出發第一梯隊ニ續行スヘシ</p> <p>十三野戰電信隊ハ秀巖溝連阿間ノ電信架設ニ從事スヘシ</p> <p>但シ兵站電信隊ト交代スルニ至ラハ直ニ報告スヘシ</p> <p>十四定規ノ外人ハ二日分馬ハ一日分ノ糧秣ヲ特別ニ携行スヘシ</p> <p>十五予ハ本隊ノ先頭ニ在テ行進ス</p>
--	---

野戰砲兵第三聯隊本部第一大隊本部及

二中隊

歩兵第十九聯隊ノ一大隊

歩兵第六聯隊ノ一中隊

衛生隊半部

輜重第一梯隊

長岡田少佐

第二第三糧食縦列

第一第二兵站糧食縦列（第二八後三軍
隊區分ニ入ル）

第二野戰病院

1884

輜重第二梯隊

長木村砲兵少佐

歩兵彈藥一縱列

砲兵彈藥二縱列（一縱列ハ十日秀巖ニ
着）

馬廠二分ノ一（十日秀巖ニ着）

第三野戰電信隊

師團ハ右ノ命令ニ基キ十日秀巖ヲ出發シ大偏嶺ニ向ヒ前進ス午後一時二道河ニ達シ
一時間ノ大休止ヲナス敵狀ニ就テ得ル處毫モナシ依テ本日ハ宿營ニ決シ午後一時十
分命令ヲ下シ左ノ如ク宿營ス

前衛 瓦房店附近ニ宿營シ瓦房店東北高地ヨリ其西方高地ニ亙リ前哨ヲ配布シ小

孤山方向ヲ搜索ス

本隊 王家堡子及其附近部落ニ村落露營ス

1885

輜重第一梯隊 秋各林子及其附近ニ宿營ス

輜重第二梯隊 二道河附近ニ宿營ス

給養ハ縦列給養

此日天氣晴朗ナルモ寒風而テ刺シ凍氷足ヲ捉リ殊ニ大偏傾滑走甚シク行進大ニ困難
ヲ極ム殊ニ馬匹ハ歩行ヲ腦マス大行李ノ如キ本隊ノ後方ニ續行セシニモ拘ラス午後
十時ニ至リ本隊ノ宿營地ニ到着ス

王家堡子ハ此近傍ニ於ケル最大ノ部落ニシテ人家三千餘戸アリ師團司令部步兵一大
隊及砲兵二中隊ヲ全ク屋下ニ宿セシムルヲ得タリ

午後十一時前衛ヨリノ報告ニ依レハ小片領ニ今朝五六ノ敵騎來リ粟高粱ノ類ヲ掠奪
シ去レリト其他敵狀ニ就テ得ルトコロナシ

十二月十一日

步兵第六聯隊ノ一中隊ヨリ一小隊ヲ兵站線ノ守備トシテ王家堡子ニ殘置シ且ツ秀巖
トノ交通ノ爲メ五道河、二道河、王家堡子ニ遞步哨ヲ設置ス

1886

師團ハ前日ノ軍隊區分ヲ以テ左ノ如ク出發ス

前衛 午前八時宿營地出發右側大迫支隊ト連絡シ特ニ左側ヲ警戒シテ小孤山ニ向

フ

本隊 十日ノ行軍序列ヲ以テ午前八時王家堡子ノ西北約七百米突ノ地点ヲ出發前

衛ニ續行ス

大行李 午前九時王家堡子ヲ發ス

輜重兩梯隊 各午前十時宿營地ヲ發ス

午後一時卅分茶棚南方ニ於テ午後一時發前衛司令官ヨリ左ノ報告ニ接ス

搜索騎兵ハ午前十時五十分二道河子ニ於テ小數ノ敵騎ヲ擊退シ十一時卅分龍鳳王

ニ達シタリ○曠大王西北方ニ敵ノ歩兵約五六百人許現在ス高地上ニハ防禦工事ヲ

ナシアルモノ、如シ此兵ハ漸次増加シテ我左方高地ニ向ヒ前進シ來ル

前衛ハ尙ホ二道河子ニ向ヒ前進ス富永少佐ニ歩兵第二中隊ヲ附シ小孤山ヨリ櫻樹

溝方向ニ派遣ス其任務ハ敵ノ壘平方向ニ行進スルヲ防止スルニアリハ此富永少佐

1887

ノ二中隊ハ改正シテ蟻勾ヨリ櫻樹溝ニ至ル道路ニ派遣スルトセリ

同時前方ニ盛ナル銃聲ヲ聞ク依テ午後二時本隊中ノ歩兵第十九聯隊第一大隊ヲ前方ニ進メ大島少將ノ令下ニ入ラシメ午後二時卅分小孤山ニ達シ師團本隊ヲ蟻勾南方畑地ニ開進ヲ命シ大行李ハ其先頭ヲ小孤山ニ置キテ道路上ニ途上縦列ノ儘停止シアラシメ師團長ハ前衛司令官ノ所在地ニ至ル此時既ニ前衛ハ鞞圃ヲ中止シ前面ノ敵兵ハ拆木城南方高地上ニ集合スルヲ見只左側櫻樹溝ノ方向ニ出セシ富永大隊ノ方向ニ方リ時々緩緩ナル銃砲聲ヲ聞クノミ是レ白草凹溝東南高地上ニアル敵兵ノ我斥候ニ向テ發射セシニ據ル而シテ我ニ對シテ曝露セシ敵ノ兵力ハ三千ニ下ラス

此ニ於テ師團ハ今夜此附近ニ宿營シ明朝ヲ待テ更ニ大迫支隊ト共ニ拆木城ノ敵ヲ攻撃スルコトニ決シ午後四時宿營命令ヲ下シ左ノ如ク宿營ス

前衛 現在ノ陣地ヲ占領シ二道河ニ宿營ス

本隊 蟻勾ニ村落宿營ス

輜重第一梯隊 茶棚大方環間ニ宿營ス

全 第二梯隊 分水嶺小片領間ニ宿營ス
給養ハ縦列給發

本日中敵狀異リナシ

十二月十二日

午前六時ヨリ拆木城附近ノ敵ヲ攻撃スルノ目的ヲ以テ十一日午後九時命令ヲ下ス其
要左ノ如シ

- 一 三好大佐ハ其聯隊第一大隊ヲ以テ二道河東北高地ヲ占領シテ本道ノ敵ニ對峙
シ本隊ノ右側ヲ掩護シ大迫支隊ト連絡ス可シ但シ本隊機槍溝及其東方高地ニ
前進スルルハ之レト連絡ヲ保持シ本道ヨリ拆木城ニ向テ前進スヘシ
- 一 大島少將ハ步兵第七聯隊ノ第二大隊全第十九聯隊ノ第一大隊野戰砲兵第二大
隊ヲ以テ明日午前六時躡勾方向ヨリ前進シ白草凹溝東南高地ノ敵ヲ攻撃スヘ
シ
- 一 步兵第六聯隊第九中隊ハ明日午前五時卅分出發白草凹溝東南高地ノ敵ノ右側

1889

ヲ脅威スヘシ

一 騎兵第三大隊第二中隊ハ主力ヲ以テ本道ヨリ拆木城ノ方向ニ前進シ敵狀ヲ捜索シ且ツ大迫支隊ト連絡シ其一部ハ小孤山ヨリ白草山溝ニ進メ敵ノ右側ヲ捜索スヘシ

一 殘余ノ諸隊ハ明日午前六時大營急集合所(嶺勾北方畑地)ニ集合スヘシ

工兵第三大隊第一中隊ハ明日午前五時三十分迄ニ嶺勾西方山頸ニ至ル道路ヲ駄馬ノ行進ニ妨ケナキ如ク修理スヘシ

大行李ハ明日午前八時分配所ニ於テ分配ヲ受ケタル后同所ニ集合シアルヘシ

一 輜重兩梯隊ハ各宿營地ニ停止アルヘシ但シ野戰病院ハ明朝六時出發小孤山迄

前進シ步兵彈藥二分一砲兵彈藥一縱列ハ明朝七時出發小孤山ニ至ルヘシ

午前一時頃昨十一日大迫支隊ト連絡ノ爲メ前衛ヨリ派遣セシ騎兵特務曹長歸還シ花紅略ニ於テ大迫支隊ト連絡スルヲ得即大迫支隊ハ潘家屋子西方高地ノ敵ヲ擊退シテ花紅略ニ達シ明日午前七時出發拆木城ニ向ヒ前進スト此特務曹長ハ歸路我前哨線前

1890

ニ出テシモ敵ニ會セスト依テ直ニ前衛司令官ニ前面ノ敵兵退却セシヤノ疑アレハ速ニ偵察スヘキヲ命ス

午前四時二十分前衛司令官ヨリ左ノ報告アリ

敵多ノ將校我斥候ノ報告ニ依レハ白草山溝東南高地ニ在リシ敵ノ歩砲兵ハ夜間ニ乘シ退却セリ其方向ハ拆木城ナラン尙ホ敵ノ在リシ陣地ニハ將校ノ停止斥候ヲ派遣シ置ケリ

右ノ報告ニヨリテ敵ハ愈々退却ニ就キシモノト判定シ直ニ左ノ命令ヲ下ス

敵ハ退却スルモノ、如シ「師團」ハ直ニ拆木城ニ向テ前進セントス

大島少將ハ舊前衛ノ諸隊ヲ以テ速ニ拆木城ニ向フテ前進スヘシ

栗飯原大佐ハ一大隊ヲ以テ櫻樹溝方向ヨリ拆木城ニ向ヒ前進スヘシ

予ハ本隊ヲ以テ本道ヲ行進ス

午前八時十八分騎兵大隊長ヨリ左ノ報告アリ

一 午前七時廿分拆木城ヲ占領セリ

1891

二 土人ノ言ニヨレハ敵ハ昨夜山ヲ超ヘ西ニ向ヒ退却セシモノ、如シ

三 家屋ノ燒失ハ多分敵兵ノ放火ナラン

四 騎兵大隊ハ海城ノ方向ニ進ミ尙ホ敵情ヲ搜索セントス

同時前衛司令官ヨリ報告アリ曰ク土人ノ言ニ依レハ敵ハ海城ニ向ヒ退却セリ露統馬
三元ハ其宿舎ヲ燒失シ去レリ

此ニ於テ師團ハ敵ヲ追撃スルニ決シ直ニ前衛司令官ニ命令シテ曰ク前衛ハ續テ敵ヲ
追撃シテ排路屯ニ前進スヘシ本隊ハ續行ス

大迫支隊ハ午前八時拆木城ノ東方ニ達ス依テ本隊ノ行軍序列ニ入りテ行進セシム

白草山溝附近ノ敵ノ右側ヲ脅威スヘキ任務ヲ以テ派遣シタル小孤山ニアリシ飯田大
尉ノ中隊ハ敵兵退却シ其必要ヲ見サルニ至リタルヲ以テ小孤山ニ歸リ兵站線ノ守備

ニ任セシム大行李及輜重兩梯隊ニハ前進ヲ命シタリ

午前十時三十分師團本隊ハ拆木城ニ達ス然ルニ櫻樹溝ニ向ヒシ歩兵第十九聯隊ノ一
大隊及第七聯隊ノ一大隊到着セス依テ前衛ニ更ニ本隊ニ在リシ歩兵第十九聯隊ノ第

一大隊ヲ附シ追撃ヲ續行セシメ本隊ハ大休止ヲナシ歩兵第十九聯隊ノ一大隊及第七聯隊ノ一大隊ノ到着ヲ待ツ

同時前衛司令官ヨリ左ノ報告アリ

土人ノ言ニヨレハ當地ニ在リシ敵兵ハ奉字軍ニシテ三千余白草凹溝ニハ同千五百當地ノ砲ハ二門ニシテ鋼鉄砲ナリ白草凹溝ニアリシモノハ二人ニテ昇クモノナリト又當地ニ在リシ將官ハ馬三元ト葉ナリト此地ノ兵ハ昨日没ヨリ退却ヲ始メタリ白草凹溝ノ敵ハ何レノ方向ニ退キシヤ詳ナラス第二大隊到着セハ判然スルナラン又敵ハ一日ヨリ退却ノ準備ヲナシ兵器等ヲ海城ニ運搬セリト云フ

午前十一時十五分田村騎兵少佐ヨリ左ノ報告アリ

排路屯ノ西方高地ニ於テ敵ノ歩兵百名騎兵五十騎砲一二門陣地ヲ占メタリ旗五本ヲ立ツ騎兵ハ徒歩戰鬥ヲナセリ

拆木城ヨリ歩兵二隊騎兵一隊砲兵一隊昨夜海城ニ向テ退却セリト云フ

午前十一時卅分ヨリ十二時迄ノ間ニ於テ櫻樹溝方面ニ向ヒシ歩兵第七聯隊ノ第二大

1893

隊及第十九聯隊ノ第二大隊ハ到着ス步兵第十九聯隊長ノ報告ニ依レハ白草凹溝附近
ニハ微弱ノ敵兵アリシモ之ヲ擊退セリ敵ハ盡ク西北方ニ退却セリ
零時卅分左ノ行軍序列ヲ以テ再タヒ前進ヲ起ス

步兵第十九聯隊第二大隊

野戰砲兵聯隊

步兵第七聯隊第二大隊

衛生隊

舊大迫支隊

同時田村騎兵少佐ヨリ左ノ報告アリ

排路屯西方高地ヲ占領セシ敵兵ハ白草凹溝ヨリ全地ヲ經テ海城方向ニ退却スル敵
兵ヲ收容スルカ爲メナルカ如シ

白草凹溝ノ方向ヨリ排路屯ニ向テ敵ノ敗兵退却シツ、アリ

右ノ陣地ニ據リシ敵兵ハ十一時頃退却ヲ始メタリ當騎兵隊ハ之ヲ追蹙シテ海城方

1894

向ニ前進セントス

師團ハ行進ヲ繼續シ午後二時卅分楊家店ニ達シ宿營スルヲニ決シ左ノ如ク宿營ス

前衛 排路屯附近ニ宿營シ海城及營口ノ方向ヲ搜索ス但シ步兵第十九聯隊ノ一大

隊及大迫支隊ニ屬セシ騎兵一中隊ヲ增加ス

本隊 楊家店紅窪窪及拆木城ニ宿營ス

輜重第一梯隊 拆木城ニ宿營ス

同 第二梯隊 拆木城及其南方部落ニ宿營

給養ハ携行糧秣

午後五時前衛司令官ヨリ午後三時五十分營城子發ノ報告アリ左ノ如シ

敗退ノ敵兵ハ今朝騎兵大隊長ヨリ閣下ヘ報告セシ如ク歩騎兵ヲ以テ後衛トナシ目

下退却シツ、アリ今朝來我騎兵屢敵ノ射撃ヲ受ケシモ人員ニ於テハ負傷ナシ馬匹

一頭僅カニ負傷セシノミ

步兵搜索兵ハ敵ノ騎兵一騎ヲ射殺セリ

1895

前衛前兵ハ三時廿分營城子北端ニ達ス今朝來既ニ行進スルヲ九時程殊ニ雪路ノ爲
メ砲兵ノ行進遲滞セルヲ以テ仮ニ此地ニ行進ヲ止メ後命ヲ待ツ

土人ノ言ニ依レハ昨夜來海城ニ潰走セシ敵兵ハ同地ニ足ヲ止メスシテ北方へ逃ケ
去レリト而シテ海城ニハ民兵ノミ五百計アリト云此土人ハ海城某商店ノ雇人ニシ

テ拆木城附近ノ者ノヨシニテ道案内者ノ知人ナリト云フ

右ノ如ク前衛ハ既ニ營城子ニ前進セルヲ以テ其儘同地ニ宿營セシメ其他ノ隊ハ前處
置ノ如ク宿營ス

是ヨリ先キ拆木城ニ達セシ片沙兵第十九聯隊ノ一中隊(谷岡大尉ノ中隊)ノ一小隊ヲ
拆木城ノ守備トシテ同地ニ殘シ中隊長ノ率フル二小隊ヲ以テ左側支隊ニ連絡セシム
ル爲メ千馬河子ニ派遣ス午後六時卅分發谷岡大尉ノ報ニ曰ク土人ノ言ニヨレハ白草
凹溝ノ敵ハ大石橋ノ方向ニ退却セリ綠蕪ト湯地トノ間ニアル双磨子ニ敗退兵目下六
七百人停止シアリト

十二月十三日

1896

師團ハ梅城ニ向テ前進ス其命令ノ要左ノ如シ

前衛

司令官 大島少將

歩兵第七聯隊本部及第一大隊

同 第十九聯隊(一大隊ト一中隊欠)

騎兵第三大隊(二小隊欠ク)

野戰砲兵第二大隊

工兵第三大隊(一中隊欠ク)

衛生隊半部

本隊(同シク行軍序列)

師團司令部

騎兵一小隊

工兵第二中隊ノ一小隊

1897

歩兵第七聯隊第二大隊

歩兵第五旅團司令部

歩兵第六聯隊(一大隊ト一中隊欠ク)

野戰砲兵第三聯隊(三中隊欠ク)

歩兵第十八聯隊ノ第一大隊

衛生隊半部

輜重第一梯隊

長 岡田少佐

第一糧食縦列ノ半及第二第三糧食縦列

第一第二兵站糧食縦列

第二野戰病院(一部ヲ欠ク)

輜重第二梯隊

歩兵彈藥一縦列

1898

砲兵彈藥二縱列

馬廠

前衛ハ午前八時卅分營城子ヲ出發シ本隊ハ午前七時楊家店ヲ出發シテ海城ニ向フ
大行李ハ午前九時楊家店ヲ出發シ輜重兩梯隊ハ午前八時卅分宿營ヲ發ス

本隊ハ午前九時卅分營城子ニ達ス九時四十五分前衛司令官ヨリ報告アリ曰ク薺麥山
ニ派遣セシ歩兵小隊ハ午前九時十分該山ニ到達セルヲ見ル道路ニ就テ未タ報告ヲ得
スト雖厄同山ニ至ルノ道路ハ多分アルナラン又敵ノ首力ハ海城南端河邊ニ於テ防禦
スルモノ、如シ

午前十時前衛司令官ヨリ報アリ曰ク敵ハ薺麥山ニアリテ防禦スルモノ、如シ前衛ヲ
以テ之ヲ攻撃スルニ決心セリト次テ前方ニ方リ銃砲聲ヲ聞ク此ニ於テ師團長ハ急行
羅家堡子ノ南方約千五百米突ニシテ薺麥山ニ至ル道路ト本道トノ交叉点ニ至ル此時
彼我ノ銃砲聲稍激烈トナル敵ハ其主力ヲ以テ薺麥山ヲ守備スルモノ、如シ依テ本隊
ニ在ル大迫少將ニ歩兵第六聯隊ノ二大隊(一中隊欠)ヲ以テ薺麥山ニ向テ前進シ敵ノ

1899

右側ヲ攻撃スヘキヲ命シ砲兵聯隊ニハ羅家堡子附近ニ放列ヲ布クヘキヲ命ス
暫時ニシテ前方ノ銃砲聲全ク止ミ前衛ハ之ヲ追撃ス師團ハ十一時五分海城ヲ占領ス
前衛ハ海城北端ニ集合シテ遼陽及牛莊ニ對シテ警戒シ別ニ一部隊ヲ營口方向ニ出シ
テ其方面ヲ警戒セシム

本隊ノ諸隊ハ海城南端ニ集合シ尙ホ敵狀ヲ搜索ス其結果ニヨレハ敵ノ大部ハ遼陽街
道ニ退キ其一部ハ營口街道ニ退却シタルモノ、如シ依テ師團ハ午後四時海城ニ宿營
スルコトニ決シ左ノ命令ヲ下ス

一、敵ハ遼陽及營口ノ方向ニ退却ス其兵力約五千人ヲ下ラス

二、師團ハ海城同附近ニ宿營ス

三、歩兵第五旅團(騎兵第一中隊(一小隊欠)ヲ附ス)ハ海城ノ西南部ニ宿營シ右翼

二台子西方河ヨリ水鴨屯ヲ經テ羅家堡子ニ直リ強力ノ前哨ヲ配布シ牛莊城營

口及蓋平ノ方向ヲ遠ク搜索スヘシ但シ歩兵第十八聯隊ノ一大隊(一中隊欠)ヲ羅家堡子ニ出シ蓋平方向ヲ警戒セシムヘシ

シ

1900

四、歩兵第六旅團(騎兵第二中隊(一小隊欠)ヲ附ス)ハ海城ノ北部ニ宿營シ海城ノ東北高地ヨリ三城子西北ノ部落ヲ經テ二台子西方ノ河ニ亘リ強力ノ前哨ヲ配布シ遼陽及牛莊ノ方向ヲ遠ク搜索スヘシ

五、野戰砲兵第三聯隊工兵第三大隊及衛生隊ハ海城ノ東部及東南部ニ舍營ス可シ

六、歩兵第十八聯隊ノ一中隊ハ營城子ニ宿營シ師團ノ後方連絡線ヲ警戒スヘシ

七、輜重第一梯隊ハ羅家堡子ニ同第二梯隊ハ營城子ニ宿營ス可シ

八、給養ハ縱列給養

九、予ハ海城ニ在リ午後九時命令受領者ヲ出スヘシ

秀巖ヨリ、海城ニ至ル道路ノ景況、人馬ノ給養及其狀態報告

秀巖ヨリ北ニ向ヒ進ムト僅カニ一里餘四道河子ニ至ル迄ハ七地平坦ナリト雖此ヨリ漸ク北方ニ進ムニ從ヒ益々山間ニ入り河川ニ沿フテ道路迂曲或ハ右岸ニ移リ或ハ左岸ニ轉シ渡渉スヘキ場所少カラス拆木城南方約二里ニ在ル二道河子ニ至リ始メテ

1901

平地ヲ見ルノミ此間大偏寄小片零及分水零アリ大偏零分水零ハ登降共ニ傾斜稍急峻ナリ

拆木城ヲ過キテ北方一里計リ土地平坦ナリト雖此ヨリ以北ハ再タヒ山間ニ入ル蓋シ拆木城以南ノ山岳ニ比スレハ深カラス從テ道路ノ山頸ヲ超ユル少ク唯營城子ニ小ナル一零アルノミ又河ヲ横キルト大ニ少シ營城子以北海城ニ至ル間ハ土地全ク平坦ナリ然レモ道路ハ悉ク凹道ニシテ積雪稍深ク一尺餘ニ昇ル

道路ト交叉セル河川ハ結氷スルモ未タ人馬ヲ渡スニ足ラズ故ニ概子之ヲ渡渉スルノ他ニ術ナキヲ以テ徒步者ノ脚絆及靴鞋ノ縁邊并ニ馬足ニ氷ヲ結ヒ歩行困難ニシテ血液ノ激進能ク脚肢ヲ熱スル筈ナルモ之ヲ暖ムルニ暇ナシ

大偏零及分水零ノ如キハ路上鏡面ノ如ク工兵及土人ヲ使用シ路面ヲ截リ或ハ土ヲ掩フト雖モ忽チニシテ舊ニ復シ滑走甚シ是ヲ以テ後方ニ行進スル部隊或ハ縦列ハ各工具ヲ要スルニ至ル

平坦ナル道路ト雖モ河原ヲ通スルニ非レハ多クハ耕作地ニシテ人馬共ニ眼ヲ脚下ニ

1902

注キ以テ礮石ヲ除ケ敵駐ヲ捨テ歩ス滑走脚肢ヲ捉リ氷片冷躑ヲ刺シ爲ニ足指寒ニ爛レサルモノ少シ殊ニ馬匹ニ於テハ滑走甚シク顛倒稀ナラス是ヲ以テ馬匹中後脚間ノ筋肉ヲ裂キ歩スル能ハスシテ之ヲ途中ニ委棄スルノ已ヲ得サルニ至ル少カラス沿道部落ハ稍富饒未ダ曾テ我占領地内ニ於テ見サル所ナリ人馬共ニ概子屋下若クハ掩蔽下ニ入ル、ヲ得且ツ馬料ノ如キモ不足ヲ感シタルヲナシ然レモ馬匹步行困難ノ故ヲ以テ甚シク大行李ノ到着ニ遲滞ヲ來タシ適時ニ給養ヲ爲シ能ハザルヲ常ナリ以上ノ如ク行進甚タ困難ニシテ給養モ大ニ不充分ナルニモ拘ラス士氣旺盛皆能ク勞苦ニ勝テ疾病艱苦ヲ訴フルモノナシ此氣候ニ於テ此惡路ヲ取り遲留若クハ殘留ノ病兵ヲ作ラスシテ遠ク海城ニ達セシハ實ニ我帝國軍隊ノ價値ヲトスルニ足ル

敵 狀

十一日拆木城附近ニアリシ敵兵奉軍ニノ諸情報ニ依レハ左ノ如シ

白草凹溝近附 二千五百人 砲四門 蔣之ヲ率ユ

1903

二道河子附近 三千五百人

馬三元之ヲ率ユ

一面山附近

一千五百人

(定邊軍)高之ヲ率ユ

此敵兵我攻撃ニ對シ銳鋒ヲ避ケテ其前夜即チ十一日夜ヨリ主力海城方向ニ退却ス白草間溝附近ノ兵ノ内千内外ノモノト砲二門(他ノ二門ハ分捕)ハ海城ニ退却シ尙ハ殘余ノモノヲ以テ徐々ニ大石橋ノ方向ニ退却シタルモノ、如シ

十三日海城攻撃ノ際同地ニアリシ敵兵ハ其一部ハ前記退却兵ニシテ其大部即チ五千八内外ノモノハ遼陽街道ニ一部ハ牛莊ニ退却シタルモノ、如シ一時營口街道ニ退キタルカ如キ形跡アルモ是レハ一旦營口ノ方向ニ退キ牛莊ニ至リシモノ、如シ

潘家堡子附近戰鬪詳報

附海城占領ニ至ル間

大迫支隊

枝隊ハ師團命令ニ基キ十二月九日午前十一時步兵第六聯隊本部並ニ第一大隊步兵第十八聯隊第一大隊砲兵大隊本部並ニ第六中隊工兵小隊糧食半縱列ヲ軸巖北端高地ニ集合セシメ步兵第六聯隊第二大隊本部並ニ第五第六中隊騎兵第一中隊(一小隊欠)ハ

1904

各其合營地ニ集合セシメ左ノ軍隊區分ヲ以テ格子山北方平片路及ヒ頭道河ヲ經テ大田領(大偏領)ニ向ヒ前進ス

軍隊區分

前衛

司令官石田步兵少佐

步兵第十八聯隊第一大隊

騎兵第一中隊(一小隊欠)

工兵小隊

本隊(同ク行軍序列)

步兵第六聯隊本部並ニ第一大隊

砲兵大隊本部並ニ第六中隊

步兵第六聯隊第二大隊(二中隊欠)

如此隊形ヲ以テ前進シ前衛ハ王家堡子(大田領北方約二千米)ニ本隊ハ秋各林子及ヒ

1905

頭道河ニ宿營シ糧食半糶列ハ頭道河ノ後方約一里半ナルニ道河ニ宿營ス

十二月十日

前衛ハ步兵第六聯隊第一大隊、之ニ前日前衛ニ付セシ諸兵ヲ加ヘ本隊ハ步兵第十八聯隊第一大隊、砲兵、步兵第六聯隊第二大隊(ニ中隊欠)ノ順序ヲ以テ前衛ノ先頭午
前九時王家堡子出發高家堡子ヲ經牛心山ニ向ヒ前進ス

此日砲兵大偏頗ノ坂路ヲ通過スルニ常リ坂路水結滑走爲メニ大ニ前進ヲ遲滯ス依テ
行軍順序ヲ變換シ步兵第六聯隊第二大隊(ニ中隊欠)ヲ後尾ニ進メタリ

午後三時前兵ウーノン山頭(牛心山南方約一里半)ニ達シタル其東北方ニ當リ銃聲
ヲ聞ク前兵ハ續テ前進ス

午後三時五分騎兵中隊牛心山ニ達セシ其敵ノ步兵約十名騎兵若干ニ衝突ス此敵ハ若
干分射撃ノ後一而山ヲ趨エ北方ニ退却セリ

中隊ハ尙ホ潘家堡子方向ニ前進シ敵情ヲ偵察ス

龍家堡子方向ニハ目下敵情ニ就テハ異狀ナシ故ニ唯小斥候ヲ小莫古峪附近ニ出スノ

1906

午後五時三十五分敵ノ歩兵約五十名牛心山西北約千二百米突ニ在ル高地ヲ占領セリ
騎兵中隊ハ此敵ニ對シ其兵力ヲ偵察中右側背ヨリ射撃ヲ受ケ已ムヲ得ス牛心山西北
端ニ退却ス

枝隊ハ本夜南馬路及ヒ高家堡子ニ宿營シ前衛ハ牛心山ニ宿營シ拆木城及ヒ龍家堡子
ニ對シ警戒ス糧食縱列ハ牛心山南方三里ノ處ニ在リ

午後七時五十分敵ノ歩兵斥候ノ如キモノ約十五名步哨線ヲ襲撃ス小哨之ヲ擊退シ
エンビール銃一挺ヲ分捕ス

土人ノ言ニ依レハ敵兵約一千人一面山(潘家堡子西方三又点北方無名村)ニ在リ此敵
兵ハ時々五十名乃至百名ノ歩兵ヲ牛心山附近ニ派遣シ諸種ノ物品ヲ徵發スト

十一日

支隊ハ午前八時左ノ軍隊區分ヲ以テ牛心山三又点ヲ出發ス

前衛

本隊

1907

司令官小野寺步兵少佐

歩兵第六聯隊本部並第一大隊

歩兵第六聯隊第二大隊(第七第八中隊欠)

砲兵中隊

騎兵中隊(一小隊欠)

歩兵第十八聯隊第一大隊

工兵小隊

午前十一時三十分騎兵中隊長ノ報告ニ依レハ敵ハ潘家堡子東方ノ高地ヲ占領ス其兵力ハ約百名ナリ

此敵ハ我前進スルニ隨ヒ漸次退却ス前衛ハ行進ヲ續行ス

此時歩兵第六聯隊第八中隊岫巖ヨリ追及シ所屬隊ニ復敵ス

午後二時枝隊本隊ノ先頭雲風岑(潘家堡子東方約二千米高地)ニ達ス

此時前衛ヨリノ報告ニヨレハ敵ハ潘家堡子西北約二千米ノ高地ヲ占領シ且潘家堡子西方ノ高地モ之レヲ占領スト

依テ前衛ナシテ潘家堡子北方ノ高地ヲ占領セシメ枝隊ノ隘路進出終ルヲ俟テ之レヲ攻撃セントスルモ雲風岑ノ西斜面ハ殊ニ道路氷結砲兵ノ通過非常ニ困難ナルヲ以テ

1908

未タ之レヲ攻撃スル能ハス

敵ノ陣地ヲ占領セシ兵數ハ約五百名ナルモノ、如シ

敵ハ我前衛ノ陣地ヲ占領スルヲ見ルヤ逐次西北方ニ向ヒ退却ヲ始ム于時午後二時半ナリ

枝隊ハ隘路進出未タ終ラサルモ直ニ行進ヲ續行シ花紅略ニ向ヒ前進シ前衛ヨリ一部隊ヲ北方平行路ニ出シ右側ノ警戒ニ任セシム

枝隊ノ隘路通過ヲ終リシハ午後三時ナリシ

午後四時騎兵中隊ハ黒略(圖上)ニ達ス

騎兵將校斥候ノ報告ニ依レハ潘家堡子ヨリ北折シテ拆木城ニ通スル道路ハ甚ダ不良ナリト

依テ枝隊ハ午後四時花紅略ニ宿營シ前衛ハ黒略ニ宿營シ拆木城ニ向テ警戒ス

午後五時騎兵斥候ノ報告ニ依レハ敵兵ノ大部分ハ潘家堡子北折道路ヨリ拆木城ニ向ヒ退却セリト

1909

午後七時半騎兵ハ火房塚マテ前進セシモ敵ハ此方位ヲ通過セサルモノ、如シ
午後九時支隊命令ノ大旨左ノ如シ

一、敵ハ拆木城方向ニ退却セシモノ、如シ

師團ハ明日拆木城ヲ攻駿スル筈

枝隊ハ明日拆木城ニ向ヒ前進セントス

二、花紅峠宿營ノ諸隊ハ午前六時半マテニ同地西方畑地ニ集合スヘシ

三、前衛ハ七時マテニ行進ノ準備ニアレ但前哨ハ之ヲ撤去スヘカラス

四、本隊大行李ハ八時當地ヲ出發スヘシ

五、糧食半縱列ハ拆木城ニ向ヒ前進スヘシ

六、予ハ六時半集合地ニ在リ

十二日

午前零時前衛司令官ヨリノ報告左ノ如シ

潘家堡子ヨリ北折シテ拆木城ニ通スル道路上ニ出セシ歩兵第六中隊ノ報告ニ依レ

1910

本日現ニ目撃セシ敵兵約一千人ハ栃木城方位ニ退却セルモノ、如シ
多數土人ノ言ニ依レハ本日此地ニアリシ敵兵ハ聶統領ノ率ユル處ニシテ騎兵及砲
兵ヲ有セス歩兵二千人今早天振木城ヨリ來リシモノナリト云フ

十二日軍隊區分

前衛

司令官塚本步兵大佐

歩兵第十八聯隊第一大隊

騎兵中隊(一小隊欠)

砲兵第三大隊(一中隊欠)

工兵小隊

午前七時半黒崎ヲ出發シ栃木城ニ向テ前進ス

途上敵ニ遭遇スルコナク前衛ノ先頭ハ午前八時十五分栃木城ニ達ス敵ハ已ニ退却セ

殘余

本隊

1911

午前八時半師團命令ヲ受領ス曰ク

一、拆木城ノ敵ハ海城方向ニ退却シ師團ハ同地ヲ占領セリ

二、師團ハ續テ排路屯ニ向テ前進セントス

三、其枝隊ハ行進ヲ繼續シ本隊ニ合シ其后尾ニ續行スヘシ

但一部隊ヲ拆木城北方河川ノ部ニ派遣シ師團ノ右側ヲ搜索セシムヘシ

枝隊ハ騎兵ヲ拆木城北方河川ノ部ニ派遣シ他ハ悉ク午後一時行進ヲ起ス同時ニ步兵第十八聯隊第一大隊ヲ拆木城ニ殘シ蓋平方向ニ對シテ警戒セシムヘキノ命令ヲ受ケタルヲ以テ該地点ニ殘シタリ

午後二時三十分ノ命令ニ依リ枝隊ハ鉦窟嶺ニ宿營ス

十三日

枝隊ハ昨日午後九時ノ命令ニ依リ師團ノ本隊トナリ行進セリ

午前十時半羅家堡子ニ至ル此時前衛ハ已ニ開戦シツ、アリ

1912

師團長ヨリ左ノ命令アリ

敵ハ蕎麥山ヲ占領セリ貴官ハ歩兵第六聯隊(一大隊ト一中隊欠)ヲ以テ敵ノ左側ヲ
攻撃セヨ

依テ直ニ蕎麥山東方ニ向ヒ前進シ午前十一時半蕎麥山ニ達セシモ敵ハ己ニ退却シ我
前衛ノ一部ハ己ニ之ヲ占領セシ後ナリシ依テ蕎麥山東南方ニ集合ス

午后三時四十分ノ師團命令ニ依リ旅團ハ海城西南部ニ宿營シ右翼ニ台子西方ノ川ヨ
リ水鴨屯ヲ經テ羅家堡子ニ亙リ歩哨ヲ配布シ牛莊城營口及蓋平方面ヲ搜索ス

十二月十一日前衛戰調詳報

歩兵第六旅團司令部

騎兵第三大隊本部及第二中隊ノ三小隊ハ搜索騎兵トシ午前七時小片領ナル歩哨線ヲ
出發シ柞木城ニ向ヒ前進ス

歩兵第七聯隊本部及第一大隊工兵第三大隊本部及第一中隊ハ三好大佐ノ令下ニ在テ
前衛前兵トナリ午前八時十分小片領ヲ出發シ小孤山ニ向フ此前兵ハ支部トシテ歩兵

1913

一中隊(第二中隊)ヲ騎兵ト同時ニ出發セシメ以テ騎兵ノ支援タラシム
歩兵第六旅團司令部歩兵第七聯隊第二大隊野戰砲兵第二大隊衛生隊半部ノ順序ヲ以
テ前衛本隊トナリ午前八時瓦房店ナル宿營地ヲ出發セリ
是ヨリ先キ松崎驛兵特務曹長ハ兵卒六名ヲ率ヒテ大道枝隊ト連絡ヲ取ル爲メ三間房
附近ヨリ花紅峠ニ向ヒ永井騎兵中尉ハ半小隊ヲ以テ小孤山ヨリ櫻樹溝ニ通ズル道路
偵察ニ歩兵第七聯隊大尉小嶋七四郎ハ一小隊ヲ率ヒ茶棚附近ヨリ其東側山脈ヲ繞リ
テ二道河子ニ同聯隊中尉青木八郎ハ小孤山ヨリ白草凹溝ニ此二名ハ共ニ道路ノ有無
其形狀二道河子及其北方ニ對シ此附近ノ山麓カ如何ナル價値ヲ有スルカヲ偵察ス
ルニ在リ
前衛ハ右ノ配備ニ在テ前進ヲ起シ正午前兵ハ小孤山ニ達ス
零時五分搜索騎兵ヨリ左ノ報告アリ
二道河子ニ於テ敵騎二十餘ヲ擊退ス騎兵ハ二道河子ニ在テ敵ト對セリ彼ノ後方ニハ
歩騎ノ連合部隊アルモノ、如シ目下搜索中ナリ

1914

同時北方ニ稍屈シキ銃聲ヲ聞ク尙舊ハ歩ヲ早メテ前進セリ

午后一時騎兵ヨリ報告アリ二道河子ヨリ櫻樹溝ニ通スル幅ニ米突ノ道路アリト

正午以來旅團長ハ前兵ノ先頭ニ在テ行進シ午後一時四十分二道河子南端ニ於テ左ノ命令ヲ下セリ

三好大佐ハ前兵ヲ率ヒ我ヨリ戰鬪ヲ挑ムコトナク二道河子及其東方高地ヲ蔭蔽シテ占領スヘシ

富永少佐ハ其大隊ノ二中隊ヲ率ヒテ二道河子西方高地ヲ占領スルヲ勉ムヘシ殘餘ノ

二中隊ハ予ノ直轄トナシ二道河子南端ニ開進セヨ

騎兵中隊ハ白草凹溝方向ニ至リ我左側ヲ警戒スヘシ

砲兵大隊ハ成ルヘク速方ニ前進シ(雪路ノ爲メ後レアリシ)二道河子東方高地ノ南麓ニ開進セヨ

砲兵大隊長ハ曠大王及其東北高地ニ對シ陣地ヲ撰定セヨ

衛生隊ハ二道河子東方高地南脚ノ部落ニ綑帯所ヲ開設セヨ

1915

騎兵ノ支援タル前兵支部ハ正午頃二道河子及其東方高地ヲ占領シ龍鳳王ノ歩騎兵約二百名及曠大王東北約五百米突ノ高地ノ歩兵凡五百名ニ對シ開戦シツ、アリシカ敵ハ騎兵ヲ以テ本道ヨリ我右側ニハ歩兵約二百名ヲ以テ迂回シ逆襲セントスルヲ察知セシヲ以テ前兵首部ノ到着ニ先チ二道河子ノ東北約八百米ノ高地迄前進シタリ
午後一時四十五分ヨリ二時三十分ニ至ル間ニ於テ前兵ハ其兵力ヲ正面ト右前方ニ擴張シ 大王東北高地ノ敵ニ對シ稍劇シキ銃戦ヲ交ヘタリ此際敵ノ歩兵約二千人ハ大王西北約千五百米ノ高地上ニ集屯セルヲ認ム此時我左側ニ當リ稍緩徐ナル敵ノ銃砲聲ヲ聞ク
午後二時二十分歩兵第七中隊ヲシテ二道河子北端ヲ占領スヘキヲ命ス此中隊ハ該地ヲ占メ敵ノ歩兵約二百騎兵凡四百計リ本道上ヨリ前進シ來ルヲ見龍鳳王迄前進シ之ト對戦セリ中隊ハ此後三好大佐ノ命ヲ以テ敵ノ退却方向ヲ偵知セン爲メ拆木城ノ南約一里ノ所迄至リシカ四時命令ヲ下シテ所屬大隊ニ復歸セシメタリ
富永少佐ノ引率セル一隊(第五第八中隊)ハ蟬勾西方ヨリ饒樹溝ニ通スル道路ヲ前進

中二道河子西方高地上ニ敵ノ歩兵數十人アルヲ發見シ之ヲ擊退シテ二道河子西方高地ヲ略取セリ敵ノ歩兵約三百該高地ノ北方約二千米ノ高地ニ在テ防禦スル者ノ如ク亦其西方白草凹溝東南高地ニハ敵ノ步砲連合ノ團隊四ヶ所ニ屯在シ青木中尉ノ小隊ニ對シ發火スルヲ見ル其兵力各四百ヲ下ラザルカ如シ

午后三時二十分我前兵ノ射撃ハ大王東北高地ニ在リシ敵兵ヲ擊退シ尙其西北高地上ニ在リシ敵兵ヲ漸次拆木城ニ向テ退却セシメタリ

左翼第二大隊ノ前面ニ在リシ敵兵モ全時退却シ白草凹溝東南高地ノ敵ハ依然其陣地ヲ保テルヲ見ル

午后三時二十分砲兵大隊長ハ其陣地ヲ二道河子東南約四百米ノ高地ニ撰定セシモ勉メテ其兵力ヲ秘匿シ砲戰ヲ開カシメサリキ

抑モ師團拆木城總攻撃ハ明十二日ニ在ルヲ以テ前衛ハ午後三時二十分以後戦闘ヲ中止セリ

茶棚附近ヨリ二道河子ニ通スル道路偵察ニ趣キタル小島大尉ノ一隊ハ銃聲ノ漸ク拆

1917

木城方向ニ起ルヲ開キ道ヲ求メテ本道ニ出テントスル中遙ニ二道河子ヲ認メシヲ以テ第一線ノ右翼ニ在テ戰鬪ニ參與シタリ時ニ午后零時十五分ナリトス（茶棚ヨリ二道河子ニ通スル岐路ナシ小孤山ヨリ歩兵一列ノ縦隊ヲ進メ得ルノミ）

午后三時三十分青木中尉ノ報告アリ曰ク白草凹溝附近ニハ歩騎砲連合ノ敵兵アリ小隊ハ白草凹溝ニ進入スルヲ得ス依テ罅勾西方高地ニ退テ師團ノ左側背ヲ掩護スルノ決心ヲ取レリト又騎兵小隊長永井中尉ヨリモ全シ報告ヲ得タリ午后三時四十分左ノ命令ヲ下ス

富永少佐ハ現在地ヲ固守シ櫻樹溝及白草凹溝ノ敵ヲ警戒スヘシ第六第七中隊ハ如今貴官ノ令トニ復セシム但シ第六中隊ハ罅勾西方高地ニテ小孤山ヨリ白草凹溝ニ通スル道路ヲ守備シアル青木中尉ノ小隊ト交代シテ師團ノ左側背ヲ掩護スヘシ

此日我ト對峙シテ射撃ヲ交ヘタル敵兵ハ六七百名ニシテ實見セル敵ノ總數ハ約三千ヲ下ラス其砲ハ四乃至六門ナリシナラン而シテ其首將ハ馬三元ニシテ其兵種ハ泰軍最モ多シト云フ

本夜歩兵第七聯隊(第三大隊欠ク)ハ晝間ノ位置ニ在テ戰鬪前哨ヲ配布シ前衛ノ殘余ハ二道河子ニ村落露營ス戰鬪後歩兵第十九聯隊第一大隊ハ更ニ前衛ニ増加セラル此ニ於テ其一部ヲ以テ二道河子ノ北端ヲ占領セシメ他ヲ豫備隊トシテ二道河子ニ警急令營ヲ爲シ以テ本夜ヲ明セリ

本日ノ戰我ニ死者ナク輕傷者僅カニ七名(外ニ師團參謀一名)敵ノ死傷ハ凡ソ六七十七名ナリシト云フ

十二月十二日前衛戰鬪詳報

十二日拆木城攻撃ノ爲メ十一日夕ニ於ケル師團ノ計畫ハ左ノ如シ

三好大佐ハ其聯隊ノ第一大隊ヲ以テ二道河子東北高地ヲ占領シ本道ノ敵ニ對峙シ本隊ノ右側ヲ掩護シ大迫支隊ト連絡シ本隊櫻櫛溝及ヒ其東方高地ニ前進スル時ハ之ト連絡ヲ保持シ本道ヨリ拆木城ニ向テ前進スヘク

大島少將ハ歩兵第七聯隊第二大隊同第十九聯隊第一大隊野戰砲兵第二大隊ヲ率ヒ午

1919

前六時蟬勾方向ヨリ前進シ白草凹溝東南高地ノ敵ヲ攻撃スヘク
歩兵第六聯隊第九中隊(一小隊欠)ハ午前五時出發白草凹溝東南高地ニ在ル敵ノ右側
ヲ脅威スヘク

騎兵大隊ハ首力ヲ以テ本道ヨリ拆木城ノ方向ニ前進シ敵情ヲ搜索シ且大迫支隊ト連
絡シ一部ヲ以テ小孤山ヨリ白草凹溝方向ニ前進シ敵ノ右側ヲ搜索スヘク

工兵第一中隊ハ午前五時卅分迄ニ蟬勾西方山頸ニ至ル道路ヲ駄馬ノ通行ニ妨ケナキ
如ク修理スヘク

残余ノ諸隊ハ午前六時マテニ蟬勾大警急集合所ニ集合スルニ在リ

午前四時卅分富永少佐ヨリ左ノ報告ヲ得

白草凹溝東南高地ノ敵ハ已ニ退却ニ就キタルモノ、如シ

午前五時歩兵第十九聯隊第一大隊ヨリ出シタル將校斥候ハ拆木城ノ敵モ亦已ニ退却
シタルノ報ヲ齎ラセリ

是ニ於テ三好大佐ニ前ノ二報告ヲ傳ヘテ其決心ヲ促シ富永少佐ニハ直子ニ山ヲ下リ

1920

テ拆木城ニ向ヒ敵ヲ追跡スヘキヲ命シタリ（距離遠隔セルヲ以テ富永少佐カ此命令ヲ受領スルハ午前六時ト豫算セリ）
予カ令下ナル各隊ハ午前五時四十五分各二道河子南端警急集会所ニ集合シツ、アル際左ノ師團命令ヲ受ク（摘要）

白草山溝東南高地ノ敵ハ退却セリ

師團ハ直ニ拆木城ニ向ヒ前進セントス

前衛（昨日増加セシ歩兵第十九聯隊第一大隊ヲ除ク此大隊ハ二道河子ニ止メ置クヘシ）ハ直ニ拆木城ニ向ヒ前進スヘシ此命令ト同時ニ工兵第一中隊ヨリ午前五時卅分迄ニハ到底坂路ノ修理爲シ能ハサル旨報告セリ

上ノ命令ニ依リ三好大佐ニ其聯隊ノ第一大隊（一中隊欠）ヲ以テ直ニ前兵トナリ拆木城ニ向ヒ前進スヘキヲ命シ富永少佐ニハ拆木城ニ於テ前衛本隊ニ合スヘキノ追尾命令ヲ發シ工兵第一中隊及ヒ衛生隊半部ハ後ヨリ前衛ニ追及スヘキヲ命シ旅團司令部歩兵第七聯隊第一中隊野戰砲兵第二大隊ハ依リニ前衛本隊トナリ午前六時前兵ノ先

1921

頭ハ二道河子ノ北端ヲ出發セリ

騎兵第三大隊本部及ヒ第二中隊ノ三小隊ハ午前五時已ニ拆木城ニ向ヒ前進セリ

午前八時卅分前衛ハ柞木城ヲ占領シ前兵ヲシテ海城及ヒ營口ノ方向ヲ警戒シ同時ニ一個中隊ヲ城内各所ニ配布シ戰利品ノ調査ヲ爲サシム

前衛拆木城ニ入ルノ際櫻樹溝方向ニ銃聲ヲ聞ケリ

午前九時二十分前衛ハ海城ニ向テ敵ヲ追躡スルノ目的ヲ以テ前兵ハ先ツ排路屯ニ向ヒ前進スヘキヲ命セリ此時步兵第七聯隊第二大隊ハ未タ到着シ在ラサリシナリ

搜索騎兵ハ終始敵ノ小數騎兵ト接觸シツ、海城ニ向ヒ前進シ午前十一時十分左ノ報告ヲ致セリ

敵ノ步兵約三百人排路屯東南高地ニ在リ騎兵ハ楊家店東南高地ニ在テ是ト對セリ

是ニ於テ前兵ニ急進ヲ命セシモ間モナク敵兵退却ノ報告ニ接ス

午後二時二十分步兵尖兵ハ朝鉄河子北端ニ於テ敵騎三四騎ニ出會シ直ニ射撃シテ其一騎ヲ倒シタリ午後三時前衛ハ營城子ニ着シ前兵ヲ以テ該村ノ北端ヲ占領シ海城ニ

1922

對シテ警戒セシム此若干時前搜索騎兵ハ營城子ノ北端ニ達セシニ敵ノ歩兵約四五百名鐘台子及ヒ其西南高地ニアリ尙其後方ニハ敵ノ歩兵縱隊海城ニ向テ退却スルヲ偵察セリ鐘台子及ヒ其西南高地ノ敵ハ間モナク海城方向ニ退却セリ

午後三時三十分歩兵第十九聯隊第一大隊ハ前衛ニ編入セラレタル旨ヲ以テ來着セリ俄テ此大隊ヲ以テ前哨ニ任シ營城子北方ニテ東北高地ヨリ西南高地ニ亘リ海城ニ對シテ守備セシメ前衛ノ殘余ハ營城子及ヒ其附近ニ警急會營ヲ爲セリ工兵及ヒ衛生隊半部ハ午後五時過來着セリ

午前四時十五分歩兵第十九聯隊本部及ヒ第二大隊騎兵第一中隊ハ前衛ニ増加ストノ命令ヲ受領ス然レハ此中隊ハ本夜營城子東方石門岑ニ在テ師團ノ右側ヲ掩護シテノ直接指揮ヲ受クルニ至テサリシ

又同時歩兵第七聯隊第二大隊ハ拆木城ニ於テ師團本隊ニ編入セラレタルヲ知ル歩兵第十九聯隊第二大隊ハ粟飯原大佐ノ令下ニ在テ未ダ前衛ニ編入セラレサル前左ノ如キ戰鬪ヲ交ユ

聯幻大警急大集合所ヨリ白草山溝ニ向ヒ前進中龍鳳王西方無名部落ノ西端ヲ通過ス
 ルニ當リ敵ノ歩兵約三百名同村西南方高地上ニ在テ發見シ第六中隊ヲシテ之ヲ攻襲
 セシメ殘余ハ櫻樹溝ニ向テ前進ヲ繼續セリ第六中隊展開スルヤ敵ハ已ニ退却ノ色ア
 リ中隊ハ直ニ進ンテ彼ノ占領シアリシ高地ヲ奪ヒ一齊射撃ヲ以テ之ヲ追撃セリ八時
 五十分敵ハ四人ノ死体ヲ殘シ北ニ向テ敗走セリ

歩兵第六旅團長

陸軍少將 大島久直

兵器彈藥損耗及ヒ死傷左ノ如シ

歩兵第七聯隊第一大隊	費消彈藥	五〇	死傷	人馬共ナシ
歩兵第十九聯隊第二大隊	同	九八三	同	同
騎兵第二中隊	同	三〇	同	人ナシ馬匹輕傷二

三十三

1924

十二月十三日前衛隊圖詳報

前衛ハ步兵第十九聯隊ノ第一大隊工兵第二中隊(一小隊欠)ヲ以テ前兵トシ其他步兵第十九聯隊本部及第二大隊工兵一小隊野戰砲兵第二大隊步兵第七聯隊本部及第一大隊衛生隊半部ノ順序ヲ以テ本隊トナシ午前八時其先頭ヲ以テ營城子北端ヲ出發セリ

前衛騎兵タル第二中隊ハ田村少佐自カラ之ヲ率ヒ首力ヲ以テ本道ヲ海城ニ向ヒ前進シ其一部隊ヲシテ遠ク營口方向及ヒ側方ヨリ敵ノ背後ヲ搜索スルノ任務ヲ以テ午前七時營城子ノ北端ヲ出發セリ

出發ニ先チ特ニ左ノ任務ヲ授ケテ一部隊ヲ差遣セリ則チ

- 一、步兵第七聯隊ノ一小隊(宍道步兵中尉之ヲ指揮ス)ハ午前五時營城子北端ヲ出發同地点ヨリ川ノ右岸ニ沿ヒ蕎麥山ニ前進シ得ル道路及敵兵海城ヲ占領シ在ルニ當テハ之ヲ攻撃スル爲メ蕎麥山附近ノ高地ハ如何ナル價値アルカヲ偵察シ速ニ報告スヘシ但シ敵兵海城ヲ守備スルニ當テ成シ得レハ掩蔽シテ蕎麥山

ヲ占領シ置クヲ要ス

二、歩兵第十九聯隊ノ一中隊(今村大尉之ヲ指揮ス)ハ同時同地点出發鐘家台ヨリ水嶋屯ニ至ル道際ヲ前進シ我カ軍ノ左側ヲ掩護スヘシ而シテ敵兵海城ヲ守備スルニ當テハ掩蔽シテ水嶋屯東南ノ高地ヲ占領シ營口及蓋平ノ方向ヲ監視シ爲シ得レハ敵ノ側背ヲ脅威スルヲ勉ムヘシ

前衛約一公里突前進スルヤ午前八時發騎兵大隊長ヨリ報告アリ曰ク敵ノ歩兵約六七
十名鐘家台ノ北方三公里ノ村落ニ在リシニ行進ヲ起シ我カ右翼ノ村落ニ向ヒ進ミ來
ルト

九時十分前衛ノ先頭鐘家台ノ北方無名村ニ達スルヤ八時三十分發ノ騎兵大隊長ノ報
告アリ曰ク我ニ向テ前進シ來リシ敵ハ海城ニ向テ退却セリト

午前九時十五分前兵大隊長藤本少佐ヨリ報告アリ曰ク敵ハ蕎麥山ヲ占領シアリト
右ノ報告ニ依リ予ハ砲兵大隊長及ヒ副官ヲ隨ヘ馬ヲ驅テ羅家堡子ニ在ル尖兵ノ所ニ
進ミ敵狀ヲ偵察スルニ砲兵ヲ有スル約五六百人ノ敵兵曝露シテ蕎麥山上ニ顯ル海城

1926

西南部ニモ敵兵アルヲ認ム依テ之ヲ攻撃スルニ決心シ先ツ之ヲ師團長ニ報シ而ノ各部隊長ヲ集メ左ノ命令ヲ達セリ時ニ九時二十分ナリ

一、敵ハ薔翠山ニ在テ防禦スル者ノ如シ

前衛ハ之ヲ攻撃セントス

二、前兵大隊ハ掩蔽シテ羅家堡子北部ヲ占領シ本隊ノ開進ヲ掩護セヨ

三、歩兵第十九聯隊ノ第二大隊ハ粟飯原大佐之ヲ率ヒ掩蔽シテ薔翠山ニ近接シ我方砲兵ノ効力ヲ顯ハスヲ俟テ該山ノ敵ヲ攻撃セヨ

四、砲兵第二大隊ハ羅家堡子北端ニ陣地ヲ占メ敵ノ砲兵ヲ撲滅セヨ

五、工兵及歩兵第七聯隊ノ第一大隊ハ羅家堡子南端ニ開進セヨ

六、騎兵第二中隊ハ水鴨屯方面ニ至リ蓋平方向ヲ監視シ且ツ敵ヲシテ牛莊方向ニ退却セシメサル如ク動作スヘシ

七、衛生隊半部ハ羅家堡子南部ニ綑帶所ヲ開設スヘシ

八、予ハ砲兵陣地ニ在リ

1927

右ノ命令ニ依リ粟飯原大佐ノ指揮スル第一大隊ハ羅家堡子ノ南方約二百米突ノ所ヨリ右折シテ川ヲ渡リ前進シタルモ此方面ヨリ藩臺山ニ近接スルニハ二箇所ノ伐木林アル外全ク敵火ニ曝露スルモ其東南麓ハ稍陰蔽シ得ルヲ以テ聯隊長ハ此方面ヨリ攻撃スルニ決心シ先ツ第七中隊ヲ一線トシ第六第八中隊ヲ豫備トシテ前進セリ此前進中敵ハ南部藩臺山ニ漸次兵力ヲ増加シ盛ニ銃砲ヲ急射シ防守最モ勉ム茲ニ於テ第八中隊ヲ第七中隊ノ左翼ニ延伸増加シ尙前進セシモ積雪脚ヲ没シ前進頗ル困難ナリ午前十時砲兵ハ陣地ニ進入スルニ敵ノ砲兵ハ其方向ヲ羅家堡子ニ轉シ我方砲列進入ヲ妨ケタリ

十時十五分第四中隊ハ砲列ヲ布キ先ツ最近ノ敵ノ歩兵(海城ノ南部部落ニ在ルモノ)ニ對シ七百米突ノ表尺ヲ以テ着發射撃ヲ行ヒタルカ敵ノ砲彈雨ノ如ク乱下シ來ルヲ以テ速ニ目標ヲ敵ノ砲兵ニ換ヘ千四百米ノ表尺ヲ以テ曳火射撃ヲ行ヒタリ

第二中隊ハ十時二十分第四中隊ノ右翼ニ砲列ヲ布キ藩臺山上ノ集團歩兵ヲ盛ニ砲撃セリ敵砲ノ彈着稍適當ノ所ニ來リ間々破裂スルモノアリシモ幸ニ我ニ一名ノ負傷者

ヲモ見サリシ

十時三十分我砲兵嵩麥山ノ敵ニ對シ其効力ヲ顯ハスヤ敵ハ避易スルモノ、如ク稍退却ノ色アリ茲ニ於テ予ハ藤本少佐ニ速カニ攻撃ニ轉スヘキヲ命シタリ

是ヨリ先キ藤本少佐ニ命シ一小隊ヲ砲兵陣地ノ左翼ナル小森林ニ出シ砲兵ノ掩護ニ任セシメ尙步兵第七聯隊長ニ命シ一中隊(山口大尉之ヲ指揮ス)ヲ出シ王亭子南方約千米突ニ在ル無名村落ヲ占領シ我カ左翼ヲ掩護セシム

午前十時三十分頃嵩麥山上ノ敵ハ退却ヲ始メタリ依テ予ハ步兵第七聯隊長ニ其第一大隊ノ二中隊ヲシテ速ニ海城南端ノ敵ヲ退撃シ同城ヲ占領シ且聯隊長ハ殘余ノ一中隊ヲ率ヒ豫備隊トナリ之ニ續行スヘキヲ命シ同時砲兵大隊長ニモ亦前進ヲ命シタリ

步兵第七聯隊第一大隊長内藤少佐ハ其第一第二中隊ヲ率ヒ本道上ヲ海城ニ向ヒ急進セリ該隊ノ先頭海城ノ南端ニ在ル橋梁ニ達スルヤ該城ノ西南端ニ在ル約百余名ノ敵ノ歩騎兵ヨリ射撃ヲ受ケタリ依テ大隊長ハ第二中隊ノ一部ヲ橋梁前ニ止メテ之ニ應

1929

射セシメ殘余ノ隊ヲ率ヒ猛進城内ニ突入シ市内ニ於テ敵兵數十名ヲ擊倒（現ニ死体ヲ見シモノ二十四五）シ急追之ヲ北門外ニ追ヒ尙射撃ヲ以テ遼陽街道ヲ敗退セル敵ヲ追撃シ尙數十人ヲ射殺セリ敵ハ乘馬及銃器等ヲ棄テ逃奔セリ

此前進ノ際曩ニ王亭子ノ方向ニ在テ我カ左翼ヲ掩護セシ第七聯隊第四中隊（山口大尉）ハ共ニ此ノ大隊ニ續行シテ海城内ニ進入セリ

午前十一時五分全ク海城ヲ占領セリ而シテ内務少佐ノ大隊ハ敵ニ尾撃シツ、尙進テ海城ノ北方約二千米突ニ在ル高地ヲ占領セリ

若麥山ニ向ヒタル歩兵第十九聯隊長ノ指揮スル第二大隊午前十時五十分全ク若麥山ヲ占領シ尙進テ海城ノ北端ヲ占領セリ

前兵タリシ藤本少佐ノ大隊ハ若麥山ヲ經テ歩兵第七聯隊第一大隊ニ續行シテ海城内ニ進入シ尙進テ同城東北方約二千米突ニ在ル高地ヲ占領セリ

曩ニ水鴨屯方面ニ派遣セシ今村大尉ノ中隊ハ原甲山ノ敵ニ向ヒ前進シ十一時三十分同山ヲ占領セリ此方面ニ在リシ兵力未詳ノ敵兵ハ牛莊方向ニ退却セリ

1930

予ハ諸隊ニ前進ヲ命シ進テ海城ノ南方約八百米突ノ地ニ達シタルル城内ノ敵狀偵察
及敵ヲ狼狽セシムルノ目的ヲ以テ特ニ砲兵大隊長ニ該城ヲ砲撃センコトヲ命シタリ
茲ニ於テ砲兵第三中隊ハ本道ノ左側畑地ニ陣地ヲ占メ約八發ノ着發彈ヲ以テ級梯射
ヲ行ヒタリ此時恰モ歩兵第七聯隊第一大隊南門ヲ突貫セシ時ナリシ

予ハ命令ヲ下シタル後チ歩兵第七聯隊第一大隊ト共ニ海城ニ入ル師團本隊タリシ歩
兵第七聯隊第二大隊長(開戦后ハ余ノ直轄ニ復セラル)ニ命シ城ノ各門ヲ守備シテ土
人ノ逃奔ヲ嚴止シ目ツ火災ヲ預防セシメタリ

右ノ如クシテ前衛ノ諸隊ハ正午海城北門外ニ集合シ該城ノ占領ヲ確實ニスルヲ得タ
リ然ルニ我前衛ノ任務タルヤ已ニ終ルヲ以テ歩兵第七聯隊ノ第一大隊歩兵第十九聯
隊ノ第一大隊長ニ命シ現在ノ位置(三城子東北高地ヨリ牛莊街道上ニ云子ニ至ル線)
ヲ固ク守備セシメ本日ノ戦闘ヲ終ハレリ

此日騎兵第二中隊ハ田村少佐之ヲ率ヒ山村少尉ニ半小隊ヲ屬シ海城ヨリ營口ニ通ス
ル道路上ニ尙特務曹長ノ指揮スル五名ノ斥候ヲ鐘家台ヨリ蕎麥山ノ東方ヲ經テ海城

1931

ヨリ遼陽ニ通スル道路上ニ派遣シ其他ノ殘余ヲ以テ麻甲山ニ進ミタルカ予ノ命ニ依リ開戦後ハ斥候ヲ二台子ニ止メテ牛莊方向ヲ監視セシメ首力ヲ以テ遼陽街道上ニ前進セリ

海城ヲ防守セシ敵ノ兵力ハ凡ソ十二營聶志超、豐某、葉某ノ三統領ニシテ其總紀馬三元之カ指揮ヲ爲シ其兵種ハ專ラ奉軍ヨリ成立スルモノ、如ク其敗兵ハ海城ヨリ二道ニ分レ其右方ハ凡ソ三千其左方ハ約千五百遼陽ニ向テ敗退セリ尤モ牛莊方向ニ敗走セシモノナキニアラスト雖厄兵數ノ寡少ナルハ騎兵大隊ヨリ出セシ諸斥候ノ報告ト追擊諸隊ノ目撃トニ依テ確實ナリ

此日ノ戦ニ於テ我負傷者ハ僅ニ四名敵ノ死者中現ニ其死体ヲ見シモノ三十前後其負傷者ニ至テハ固ヨリ其數ヲ詳ニスル能ハサルモ土人ノ言及ヒ諸所ニ在ル血痕ト死者トノ比例トヲ以テセハ凡ソ二百前後ナリシナラン

本日ノ戦ニ於テ前衛諸隊ハ能ク余ノ意圖ヲ奉シ從テ戰鬪ノ結果ハ全ク予カ計畫ノ如ク實施スルヲ得タリ又消費彈及鹵獲表ハ已ニ報告セシヲ以テ茲ニ之ヲ略ス

1932

戦闘詳報第三號附録

明治二十七年
十二月十日 第三師鹵團獲表

考	備	員 數	區 分		種 類	俘 虜	戰 利
			將 校	下 士 兵 卒			
	銃ハ「エンピール」トス			馬 匹			
		一		銃			
				砲			
				彈 藥			
				糧 秣			
				貨 幣			

1933

取調詳報第三號附録

明治二十七年 第三師團鹵獲表
十二月十二日

考	備	員 數	區 分		類 別	俘 虜	戰 利
			將 校	下 士 兵 卒			
	銃ハ胸鎗銃ニシテ俘虜ノ携帶セルモノトス	一		馬 匹	戰		
		一		銃			
				砲			
				彈 藥			
				糧 秣			
				貨 幣			
			一	刀			

二十八

1934

明治二十七年
十二月十三日
第三師團鹵獲表

種類	員數
馬 古式底裝砲	二四
小銃	二五
拳銃	二
銃	二一
鎗	一八
鎗	一六
刀	一四
旗	七〇二〇發
小銃	六六包
火藥	三三
喇叭	三
乘衣	一〇八
軍	

1935

戦國詳報第三號附録

明治二十七年 十二月十一日 第三師團死傷表

野戰砲兵第三聯隊	騎兵第三大隊	第六旅團		第五旅團		司令部	團分		死	傷	失	踪
		第十九聯隊	第七聯隊	第十八聯隊	第六聯隊		隊號	區分				
							將校					
							兵卒					
							馬匹					
						一	將校					
							兵卒					
			五				馬匹					
							將校					
							兵卒					
							馬匹					

二十九

1936

備考	總計	野戰衛生部	輜重兵大隊	彈藥大隊	工兵第三大隊
傷者將校一ハ歩兵少佐齋原忠誠トス 輕傷者ニシテ尙ホ隊中ニ在ルモノ歩兵第七聯隊ニ下士二名アリ					
	一				
	六				

1937

戰國詳報第三號附錄

明治二十七年 十二月十三日 第三師團死傷表

野戰砲兵第三聯隊	騎兵第三大隊	第六旅團		第五旅團		司令部	團		死	傷	失	踪
		第七聯隊	第十九聯隊	第六聯隊	第十八聯隊		號	區分				
							將校	兵卒				
							馬匹					
							將校	兵卒				
			四				馬匹					
							將校	兵卒				
							馬匹					

三十三

1938

考 備	總	野	輜	彈	工
	計	戰	重	藥	兵
		衛	兵	大	第
		生	大	隊	三
		部	隊		大
					隊
	四				
	一				

1939

戰團詳報第三號附錄

明治二十七年
十二月十四日
第三師團死傷表

野戰砲兵第三聯隊	騎兵第三大隊	第六旅團		第五旅團		司令部	團		死	傷	失	踪
		第七聯隊	第十九聯隊	第六聯隊	第十八聯隊		隊	號				
	二						將校	兵卒				
							馬匹					
							將校	兵卒				
							馬匹					
							將校	兵卒				
							馬匹					

三十一

1940

考 備	總 計	野 戰 衛 生 部	輜 重 兵 大 隊	彈 藥 大 隊	工 兵 第 三 大 隊
牛莊東南方約一里半ノ所ニ於テ偵察中戰死					
	二				
	一				

1941

戰國詳報第三號附錄

明治二十七年 十二月十日 第三師團兵器彈藥損耗表

隊 號	種 類	消費セシ彈數			損失セシ兵器及彈藥數		
		砲彈	銃彈	其他ノ兵器	砲	小銃	榴彈
歩兵第六旅團	榴彈						
	榴彈						
	小銃						
	拳銃						
	砲						
	小銃						
	榴彈						
	榴彈						
	小銃						
	其他ノ兵器						
歩兵第六旅團	榴彈						
	榴彈						
	小銃						
	拳銃						
	砲						
	小銃						
	榴彈						
	榴彈						
	小銃						
	其他ノ兵器						

1942

考 備	計									
	一八									

1943

戰圖詳報第三號附錄

明治二十七年 十二月十一日 第三師團兵器彈藥損耗表

隊 號	區 分	種類	消費セシ彈數			損失セシ兵器及彈藥數														
			砲	銃	彈	砲	小銃	榴	榴霰	霰	其他ノ兵器									
步兵第五旅團																				
步兵第六旅團																				
騎兵第三大隊																				

三十三

1944

考 備	計										

1945

戦況詳報第三號附録

明治二十七年 十二月十三日 第三師團兵器彈藥損耗表

隊	區	分	號	野戰砲兵第三聯隊	騎兵第三大隊	步兵第六旅團	消費セシ彈數			損失セシ兵器及彈藥數								
							砲彈	銃彈	榴彈	砲	小銃	榴彈	小銃	其他ノ兵器				
				九二	六二九	三五三												

1946

三十四

考 備	計											

1947

戰陣詳報第三號附錄

明治二十七年
十二月十三日 第三師團鹵獲表

馬匹 二十四頭

古式底裝砲 三門

小銃 二十五挺

拳銃 二挺

旗 十四條

鎗 十八條

銃劍 二十一本

刀 六振

小銃彈 七〇二〇發

火藥 六十六包

喇叭 三

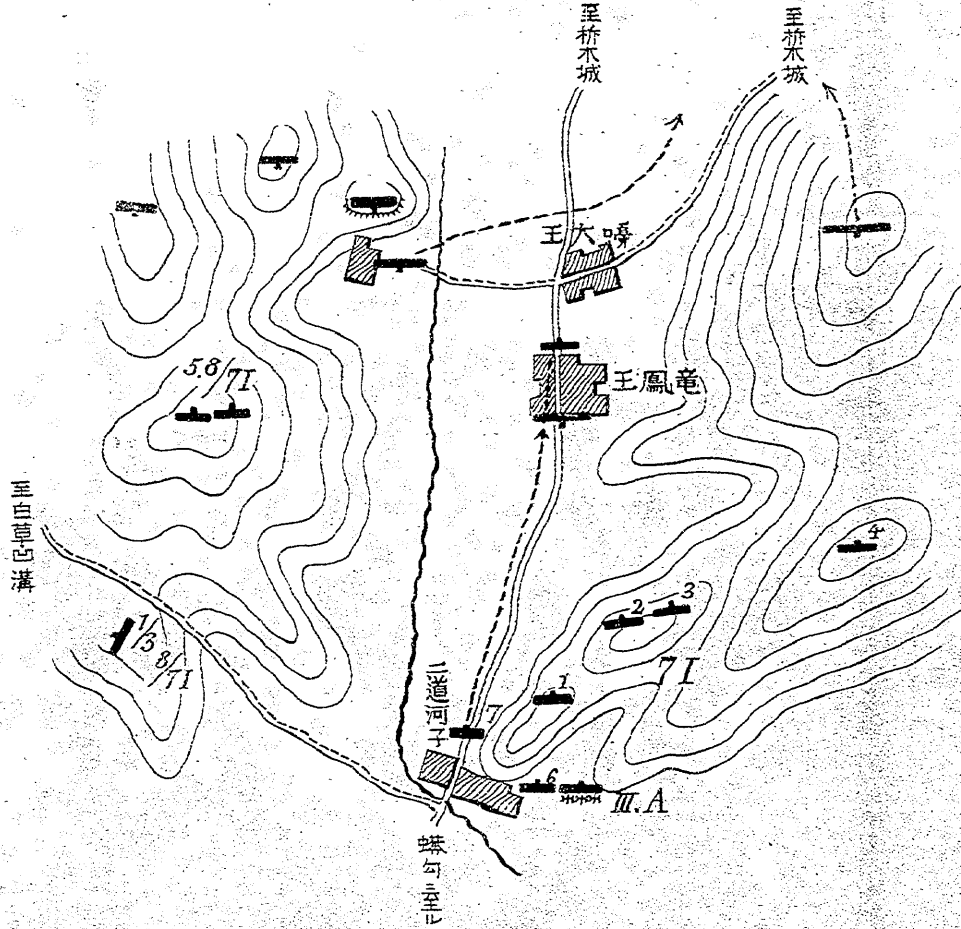
1948

軍衣
乗鞍

百〇八
三

1949

二道河子附近於前衛戰配圖
(二十日午二時)



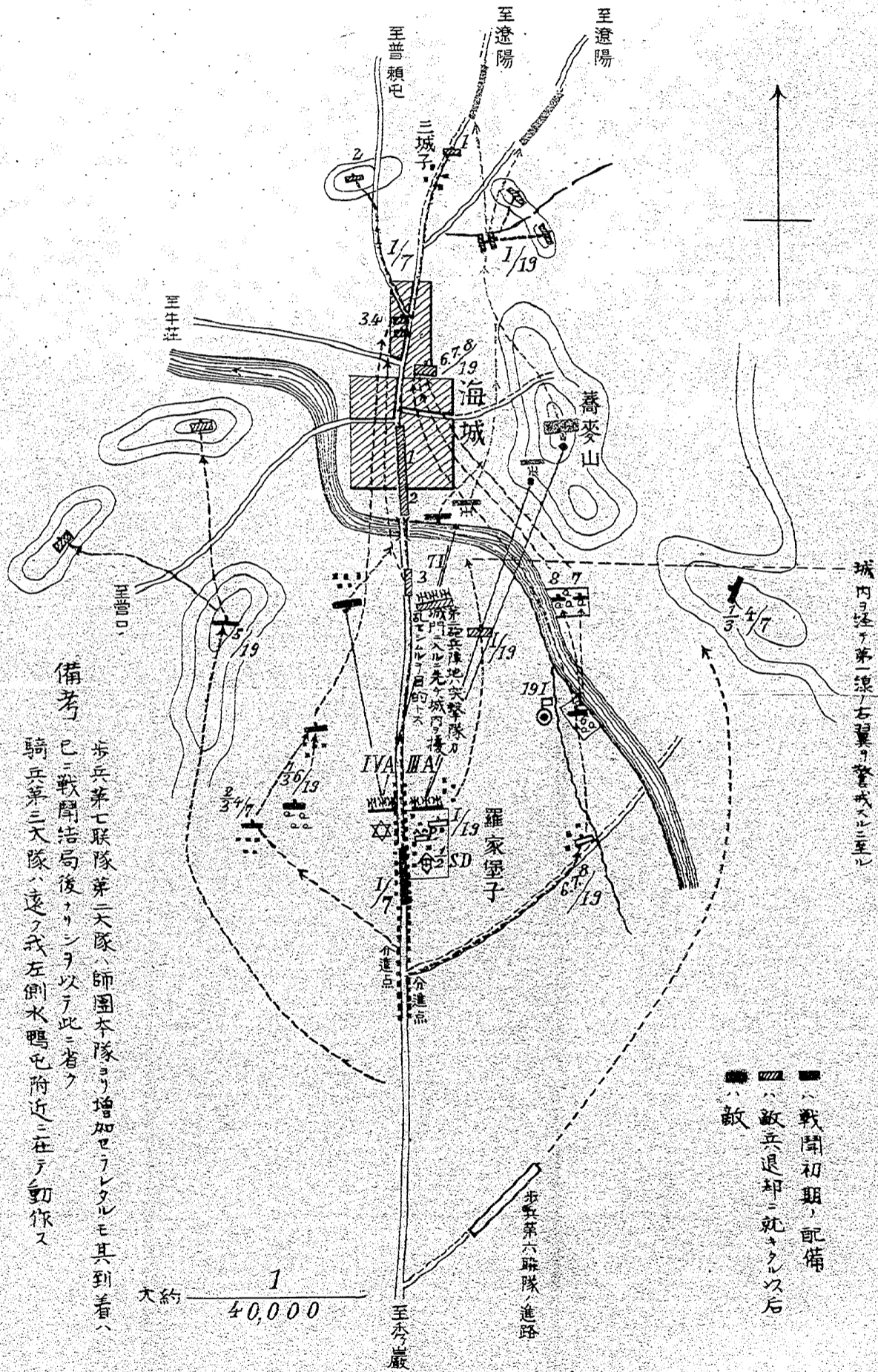
歩兵第六旅團司令部

一前面ノ敵兵退却后白草凹溝方面ノ敵兵優勢ナリトノ報接シ
豫備兵タル第六中隊ヲ派遣シ第八中隊ノ青木中尉ヲ指揮スル
小隊ヲ援助セシメ尚第七中隊ヲ留永第二天隊長ノ許ニ派遣シ
其指揮下ニ歸復セシメタリ

敵兵退却スルニ當リ第七中隊ハ敵ヲ追蹙シテ竜鳳王ヲ占
領セリ此日歩兵第十九隊ノ第一大隊ハ前衛ニ屬セシタルニ戰
闘後ニ屬セシラ以テ面上ニ記載セズ

1950

第三師團前衛海城附近戰展開略圖 (十一月三十日午前)



備考
步兵第七聯隊第二大隊、師團本隊より増加せられたルモ其到着ハ
已ニ戦局後、リシヲ以テ此ニ省ク
騎兵第三大隊ハ遠ク我左側水鴨屯附近ニ在テ動作ス

城内ニ於テ第一線ノ右翼ヲ警戒スルニ至リ

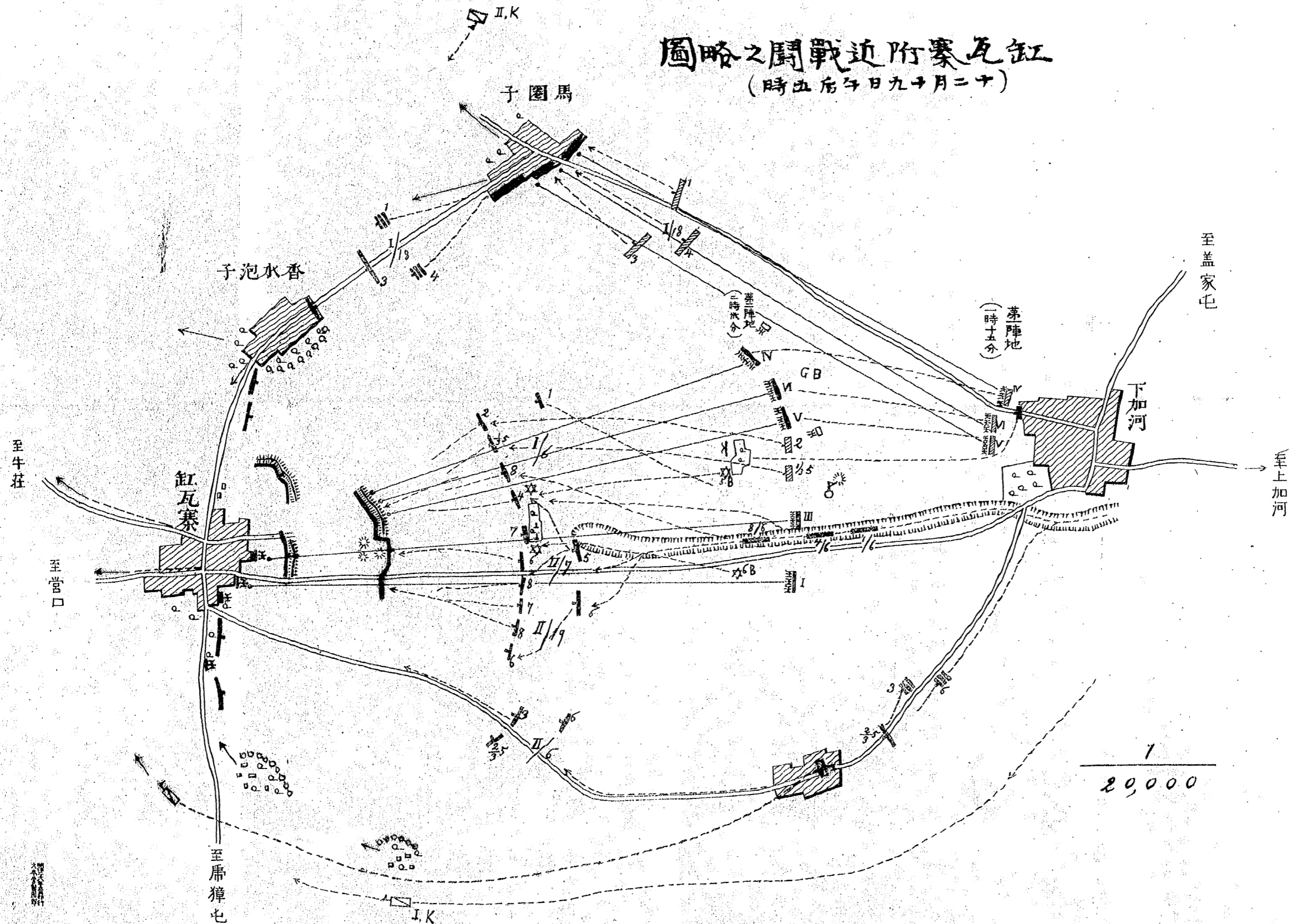
■ 戦開始初期ノ配備
● 敵兵退却ニ就タル以後
▲ 敵

明治三十八年三月六日大正製薬部印行

1951

缸瓦寨附近戰鬥之略圖

(二十九年九月二十五日)

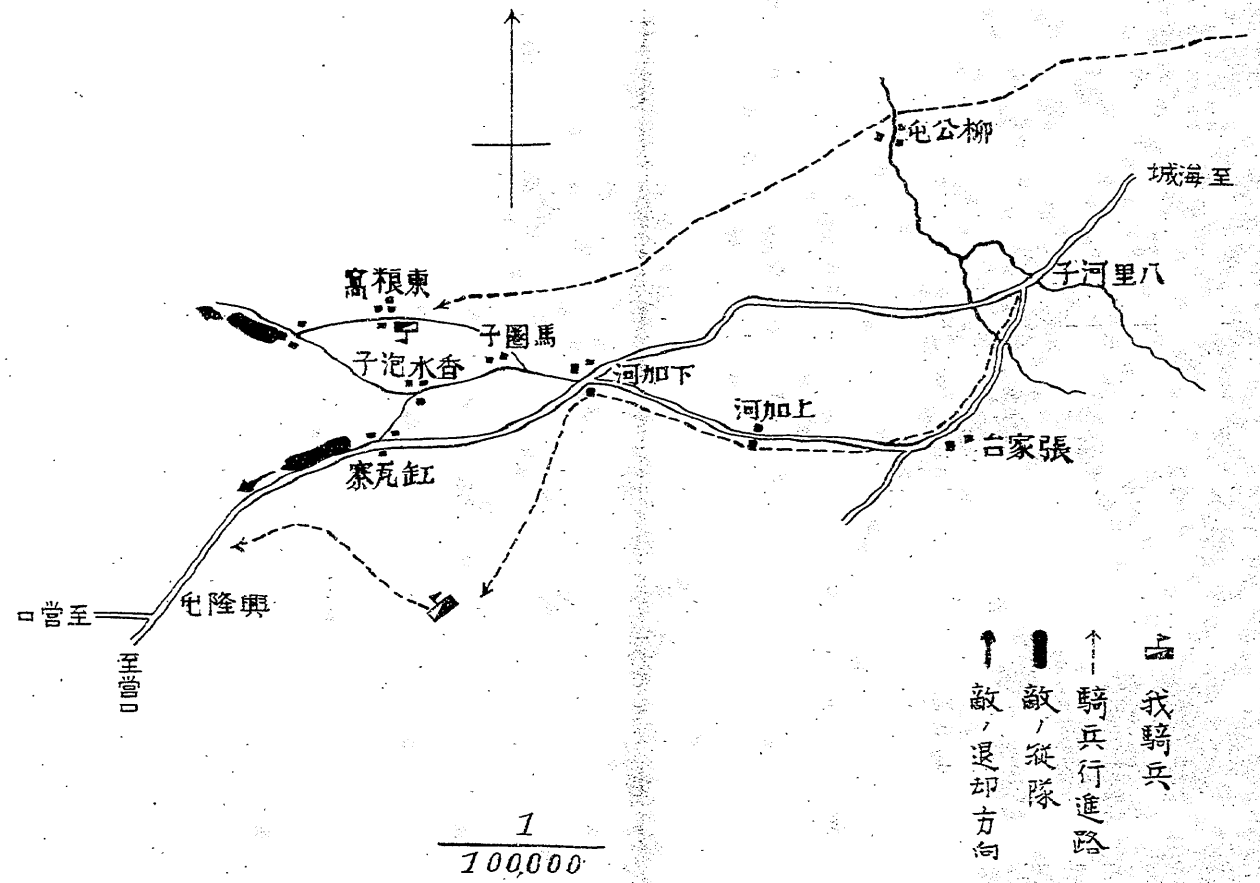


ハ午右一時五十分ノ位置

干官屯
3/19

1952

圖畧路進行隊大三第兵騎日九十月二十



1953

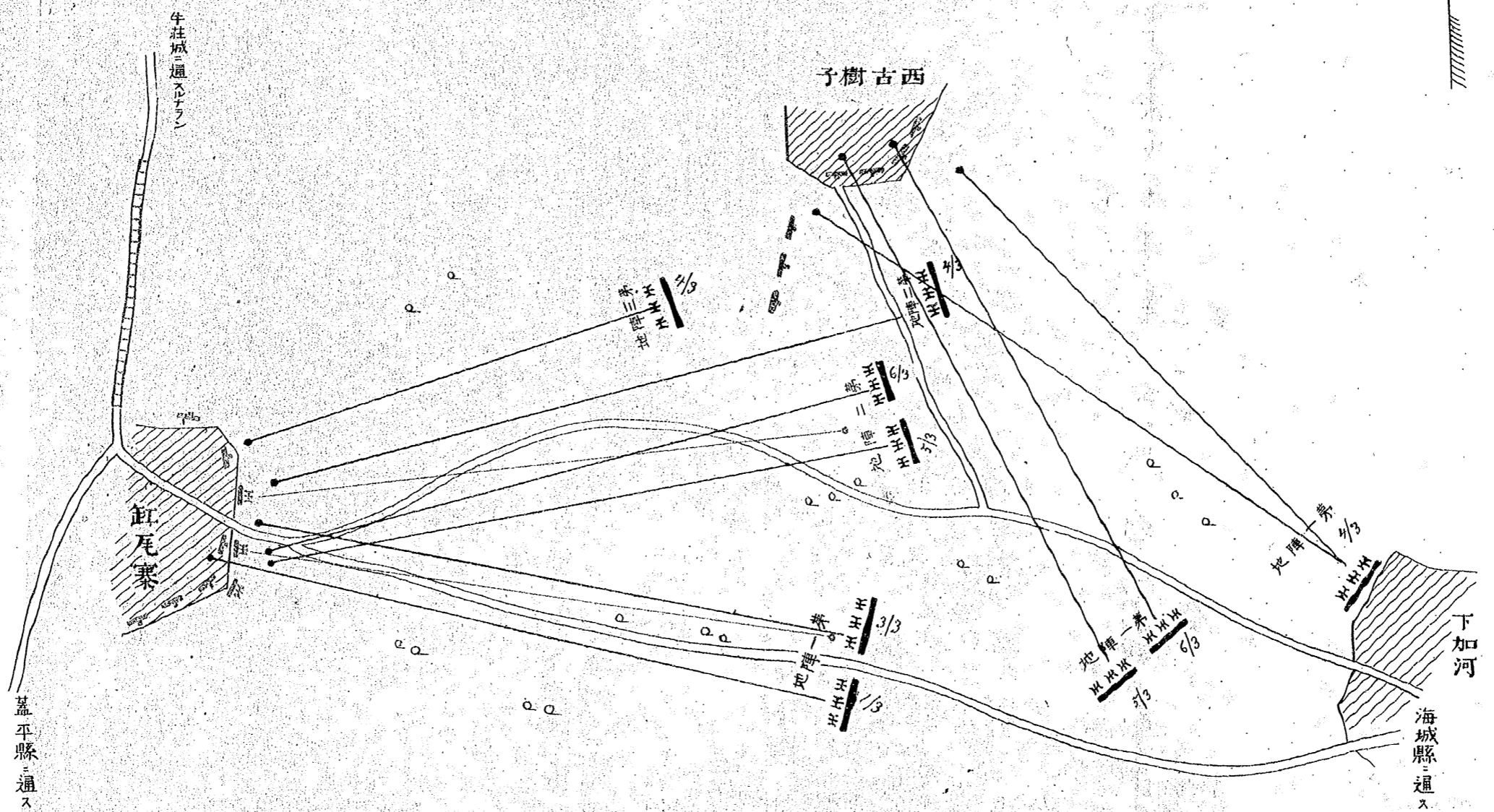
乙三十一

缸瓦寨附近放陣地略圖

二十七年十二月十九日



野戰砲兵第三聯隊



1954

戰闘詳報第四號附錄

明治二十七年
十二月十八日 第三師團死傷表

野戰砲兵第三聯隊	騎兵第三大隊	第六旅團		第五旅團		司令部	關隊分區	
		第七聯隊	第十九聯隊	第六聯隊	第十八聯隊		將校	兵卒
								死
								馬匹
								傷
					七			將校
								兵卒
								馬匹
								失
								將校
								兵卒
								馬匹
								踪

三十二

1955

考 備	總 計	野 戰 衛 生 部	輜 重 兵 大 隊	彈 藥 大 隊	工 兵 第 三 大 隊
坡廠ニ於テ偵察中負傷					

1956

戰圖詳報第四號附錄

明治二十七年
十二月十九日 第三師團死傷表

野戰砲兵第三聯隊	騎兵第三大隊	第六旅團		第五旅團		司令部	團隊區分		將校	死	傷	失	踪
		第七聯隊	第十九聯隊	第六聯隊	第十八聯隊		號	分					
			一	一					將校				
			二四	八	一六				兵卒				
一		一八							馬匹				
									將校				
		四	一	二	三				兵卒				
		九五	六四	五〇	四九				馬匹				
五									將校				
									兵卒				
									馬匹				
									將校				
									兵卒				
									馬匹				

三十三

1957

考	備	總計	野戰衛生部	輜重兵大隊	彈藥大隊	工兵第三大隊
	輕傷者ニシテ尙ホ隊中ニ在ルモノ	二				
	步兵第六聯隊 下士兵卒 十五名	六七				
	步兵第七聯隊 將校 一名	一				
	步兵第九聯隊 下士兵卒 十三名	一〇				
	野戰砲兵第三聯隊 下士兵卒 六名	二六四				一
	工兵第三大隊 下士兵卒 二名	五				
	下士兵卒 十三名					
	下士兵卒 十四名					

1958

明治二十七年
十二月十九日

將校死傷人名

戰死者

步兵第十八聯隊

陸軍歩兵少尉

田中時哉

步兵第七聯隊

陸軍歩兵少尉

三浦吉太郎

負傷者

步兵第六聯隊

陸軍歩兵少佐

岡本忠能

同

陸軍歩兵中尉

千秋勸

同

同

柴山勇吉

步兵第十八聯隊

同

三宅義任

同

豫備陸軍歩兵少尉

大村早松

同

同

梶原景敏

步兵第七聯隊

陸軍歩兵大尉

宇野新次郎

同

陸軍歩兵少尉

五十嵐多一

1959

	歩兵第十九聯隊	陸軍歩兵大尉	森川昇
	歩兵第十九聯隊	陸軍歩兵大尉	塚本芳郎
同	陸軍歩兵中尉		高嶋嘉藏
同			平岡通久

1960

戰圖詳報第四號附錄

明治二十七年
十二月十九日
第三師團兵器彈藥損耗表

隊 號	區 分	消費セシ彈數			損失セシ兵器及彈藥數			
		砲	銃	彈	砲	銃	榴	其他ノ兵器
步兵第六聯隊	第一大隊			三八六		一		一
同	第二大隊			三三〇		三		一
步兵第十八聯隊	第一大隊			五七〇		一〇		
步兵第七聯隊	第一大隊			一七〇				
步兵第七聯隊	第二大隊			一七〇				
步兵第十九聯隊	第一大隊			四一六		一		
步兵第十九聯隊	第二大隊			四一六		一		
騎兵第三大隊	第一大隊			三〇〇				
騎兵第三大隊	第二大隊			三〇〇				
同	第三中隊			三〇〇				

二十五

1961

備考	計	野戦砲兵第三聯隊				
		第一中隊	第二中隊	第三中隊	第四中隊	第五中隊
野戦砲兵第三聯隊ノ損失セシ兵器左ノ如シ						
軸轄 一	二七三			一〇六		
螺柄 一	一一〇			二八三		
彈藥箱 一						
駐頭輪 二						
仮標機 二						
砲架 一	六五					
砲耳蓋 一	二四			三〇		
砲耳蓋架 一						
砲耳蓋鈕 一	三六					
閉鎖機 一						
鞍喉帶 一	二八					
靴 一						

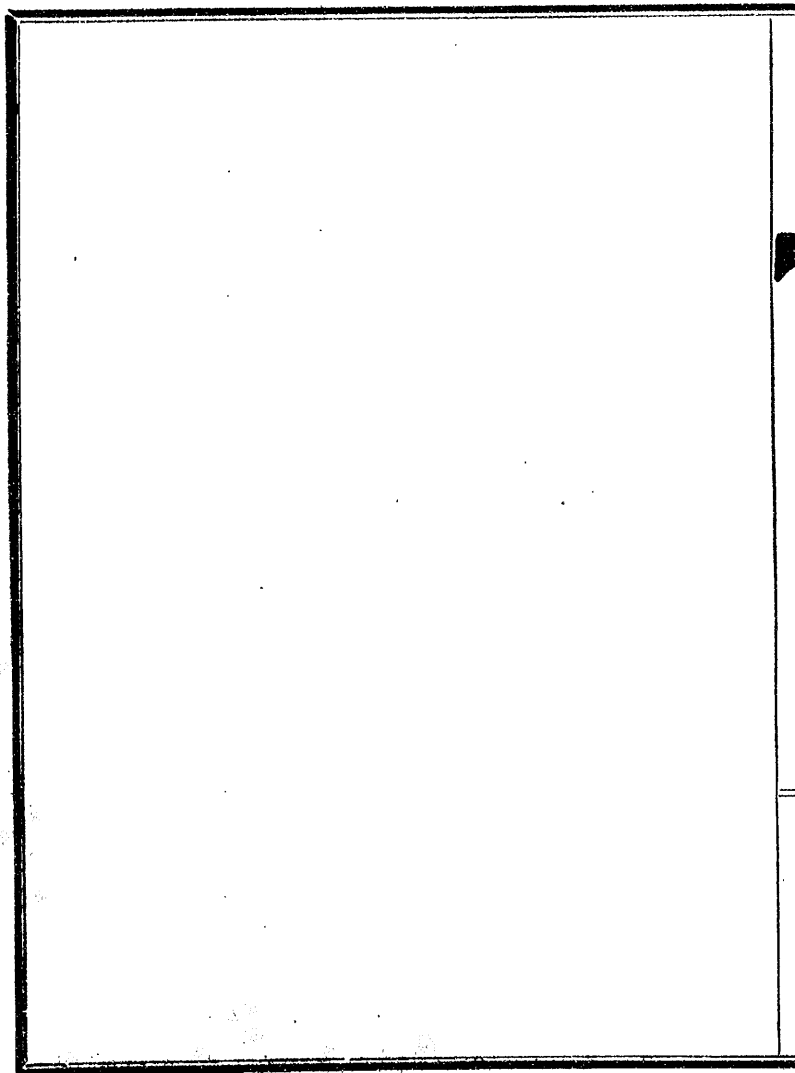
1962

戰圖詳報第四號附錄

明治二十七年
十二月十九日
第三師團尙獲表

備考	員數	區分		馬匹	銃	砲	彈藥	糧秣	貨幣	刀	旗	銃劍	種類	俘虜	戰利
		將校	下士 兵卒												
	一				九		砲六七 銃一六			一	三	四			

1963



1964